

尖頭器



尖頭器とは、主に旧石器時代に使われた狩猟具です。

旧石器ハテナ館

史跡田名向原遺跡
旧石器時代学習館

神奈川県相模原市中央区
田名塩田3-23-11
Tel.042-777-6371

平成30年11月1日

【第38号】

講演会
4/21

◆町田市忠生遺跡の発掘成果を知る◆

講師 川口正幸氏(町田市教育委員会 学芸員)



忠生遺跡は、4半世紀にわたり発掘された旧石器時代から近世に至る町田市最大の遺跡です。

今回の講演会では、発掘当初から忠生遺跡と深く関わって来た町

田市教育委員会の川口正幸学芸員をお招きし、忠生遺跡を中心とした境川左岸の遺跡の特徴を右岸の相模原の遺跡と比較しながらお話いただきました。参加者は67名にのぼり、忠生遺跡B地区の横穴墓から人骨が見つかった時の様子など、川口氏ならではの臨場感あふれるお話に皆さん熱心に耳を傾けていました。縄文時代の説明の中では、忠生遺跡B地区から山王平遺跡への人の流れの可能性などについても触れられました。

多くの方から「遺跡の内容がよくわかった」「時間と空間という観点がよかった」などの感想をいただきました。

文化財探訪
5/12

忠生遺跡の発掘地点と考古資料室を巡る

青空の下、文化財探訪を実施しました。

忠生遺跡B地区と考古資料室では、講演会でもお話いただいた町田市教育委員会の川口正幸学芸員に解説していただきました。発掘時の様子を実際に発掘した方から発掘現場で聞くという贅沢な時間となりました。

【忠生遺跡B地区】



【町田市考古資料室】

講演会
8/25

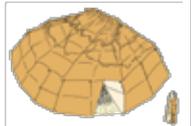
◆田名向原遺跡と住居状遺構◆

旧石器時代人のくらし

講師

あんびる

安蒜政雄氏(明治大学名誉教授)



田名向原遺跡になぜ住居状遺構が出現したのか？

開館当初より当遺跡に携わっていただいている、明治大学名誉教授安蒜政雄先生をお招きし、田名向原遺跡に住居状遺構が出現した背景を「旧石器時代人のくらし」という観点からお話いただきました。



以下、講演の一部をご紹介します。

旧石器時代はヤリの文化史

旧石器時代の出土品は、石器が中心となります。

ヤリを文化史として考えると関東・中部など本州中央部では、ナイフ形石器文化から槍先形尖頭器文化、さらに細石器文化へと変化していきます。ただし、出土する石器には地域差があり、北海道ではナイフ形石器文化が発達した形跡はなく、槍先形尖頭器文化も北海道と九州では顕著な存在を示しません。

田名向原遺跡と鷹山遺跡

田名向原遺跡のイエは、槍先形尖頭器文化に属します。

黒曜石の産地である鷹山遺跡と消費地である狩場の田名向原遺跡には同時期のイエの遺構が存在します。両遺構から出土した石器は、搬出品と搬入品が、槍先形尖頭器の完成品と半完成品、素材用剥片という品目に対応し、一致しています。そのことから旧石器人の集団形成のあり方を産地と狩場のイエ、石器の石材調達と製作にかかる労力から検証しました。その結果、狩人集団の中に石器製作者集団が出現し、石器製作者集団が、産地と狩場にイエを建て往復しながら狩猟具を確保し、狩人集団が食料を確保したと考えることができます。

集団における分業の起源につながり、自給自足から物々交換へと移行する、旧石器時代人のくらしが、新しい時代へ向かう第一歩となったと捉えることができるのではないのでしょうか。

ハテナ館まつり開催!

9月15日(土)あいにくの雨の中、たくさんの方にご来館いただき、ハテナ館まつりが開催されました。

今回初の試みとして住居状遺構の解説がありました。ご参加いただいた方から、わかりやすく、おもしろかったとお声をいただきました。弓矢のコンテストは、再試合を行う接戦で大変白熱しました。石蒸し料理体験、火起こし、土でつくるアクセサリ、古代の魚釣り、クイズラリーなど恒例の企画もパワーアップ。来年は、お天気が味方してくれますように。ご来館のみなさま、ありがとうございました。



八瀬川 探検

八瀬川は、あまり護岸工事が行われていない自然が多く残っている川です。今年度は、台風の影響でハテナ館の実習室で実施しました。講師は、神奈川県内水面試験場専門研究員の勝呂尚之さんです。相模川の水生生物の実情やお持ちいただいた水槽の魚の生態や仲間分けについて熱心にお話しくださいました。(7/28)



縄文時代の装身具の中でも『土製耳飾り』は、とても繊細で芸術的です。

相模原市内で出土した耳飾りを間近で見ながら制作にはいりました。「簡単な文様でも難しいね」などと話しながら、皆さん素敵な作品ができました。(8/11)



川原のふしぎ

市立博物館学芸員の河尻清和さんにご指導いただき、相模川の川原で石を集めて『石図鑑』を作りました。石はどこから来たのか、どうやってできるのか。学んで悩んで、味わい深い図鑑が完成しました!(10/6)



まだまだ間に合う ハテナ館イベントスケジュール

11月

11/10(土)文化財探訪

相模川を渡って、少し脚を延ばして、一遍上人がみた景色をさがしてみませんか?



11/18(日)定例体験教室
「埴輪作り」

古墳からみつける埴輪です。作ってみるとちょっと大変。世界で1つのオリジナル埴輪いかがですか?



12月

12/1(土)講演会

「装身具からみた縄文時代の地域間交流」
講師:坪田弘子氏
(玉川文化財研究所)

12/16(日)定例体験教室
「黒曜石で石器作り」

黒曜石の割れ方をマスターして、旧石器人が作ったような石器を作ってみませんか?



1月

1/20(日)定例体験教室
「弓矢作り」

弓矢を作って、的を狙ってみよう。うまく飛ぶかな?黒曜石の矢じりも作ります。



1/26(土)考古学で工作教室
「拓本をとって
ランプシェードを作ろう」

土器や尖頭器の「拓本」をとり、和紙とこんにやく糊を使ってランプシェードを作ります



2月

2/9、23(土)

連続講座「石器作り」

講師:大沼克彦氏
(国土舘大学名誉教授)

2/17(日)定例体験教室
「編布作り」

3月

3/9(土)講演会

講師:山田康弘氏
(国立歴史民俗博物館教授)

3/17(日)定例体験教室
「土器作り」

館長からひとこと

4月に着任しました大房です。日本で最も古いと言われる「田名向原遺跡」の建物跡と旧石器ハテナ館をなるべく多くの方に知っていただけるように職員一同がんばります。